

監督者会議資料

第71回日本泳法大会に参加する方(競技選手・資格審査受査者)及び付添、観覧者は、下記注意事項について遵守してください。

場内の履き物について

観覧席までは土足可です。ウッドデッキ前の手すりからは素足か室内履きです。

会場内の着衣のルール

会場内で、水着だけ(水着+水干のみも含む)でいられるのは、更衣室とプールサイドのみです。
観覧席、通路、受付付近、ロビー、役員室等はすべて上下に着衣(水干着用の方は上は水干、下は短パンなど)をしてください。

観覧席では着替えはしないでください。

こまめな水分補給をしてください。

応援の際の注意

★声を出しての応援をする際には、マスクの着用を推奨します。ただし、以前から自チームの選手に有利になるような応援方法は禁止しています。そのマナーを引き続き守ったうえで、応援をしてください。

游泳時の眼鏡着用

★ゴーグルではなく、視力矯正の眼鏡については、材質を問わず、着用禁止です。
競技等の規則ではなく、プールの利用規則です。どのような理由でも着用できません。

その他

- ★大会期間中の販売物はプログラム(1000円)のみです。
- ★忘れ物については、大会総務が保管しますので、プールではなく、大会総務にご連絡ください。
- ★大会期間中の競技結果などは、すでに周知のとおり Web 掲示版に掲載します。
- ★観覧席の指定はありません。

★ゴミは持ち帰ってください

1. 水着等に関する規定

＜商業ロゴマーク等＞(末尾に参考資料があります)

- ・大会に出場する選手、資格審査受査者は「宣伝・広告の媒体について(2026年4月1日公益財団法人日本水泳連盟)」に違反しない水泳用品・用具を使用して下さい(30cm²超の商標等の表示された水着は使用禁止)。
 - ・また、「競泳競技規則第14条 水着等」の規定に準じます。
 - ・違反した水泳用品・用具を使用した場合、競技失格となります。
- ただし、本大会では以下の例外を認めます。

世界水泳連盟(World Aquatics 旧 FINA) F I N A 承認マークのない水着での参加が可能です。

2. 大会会場における撮影時の注意とお願い

(1) プールサイドにおける撮影は禁止です。(取材許可者、本部広報員は除く)

表彰、開会式、閉会式の撮影は、観覧席からのみとします。

(2) 写真・ビデオ撮影者は全員撮影許可証を着用してください。許可証未着用者が写真・ビデオ撮影

していた場合、即座に退場していただきます。

- (3) 撮影者用許可証は、大会当日申請した団体（個人）に大会受付でお渡しします。
- (4) 撮影許可証はそのままお持ち帰りください。
- (5) ADを所持している者はそのADを撮影許可証と見なします（別途撮影許可申請は不要）。

◆下記事項のご了承をお願いします◆

＜審判研修会用ビデオ・広報用写真等の撮影＞

当委員会が主催する「審判研修会」等で使用する映像資料として、全競技種目をプールサイドにおいて撮影します。また、「日本泳法普及用広報資料」として、取材許可証を着用した広報及び記録係役員が各競技種目・資格審査等を撮影します。出場者・監督・各団体管理者の皆様には予めご了承ください。

＜個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて＞

配布及び大会会場掲出文書『公式競技会及び公認競技会における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて（2023年4月1日 公益財団法人日本水泳連盟）』の内容について出場者、演技者及びご関係者の皆様にご周知いただくとともに御了承をいただけますようお願い致します。

3. 表彰の仕方

- (1) 各競技1位～3位までを対象に表彰台に登壇していただきます。登壇者には贈呈品（トロフィー、楯、メダル）をお渡しします。贈呈品をお渡しした後、記念撮影をいたします。チーム関係者の皆様は、観覧席から撮影をしてください。〔2（1）、5（2）参照〕。
- (2) 「賞」「記録証」は、各表彰式の後、お渡しします。
- (3) 表彰状等を表彰式で受け取れないときは、郵送の手配、代理受領等の手配をすること。（例）レターパックや箱等を用意、宛名を書く。着払いに限る。閉会後に残っているものは処分します。

4. 各競技・資格審査等の進め方、注意点等

【共通】

- ・招集時刻に遅れた場合、理由の如何をとわず棄権とみなします。招集時刻にいない場合でも出場者個々への呼び出しはいたしません。
- ・遊ぎ出す合図はすべて当該種目の主任が笛（もしくは電子ホイッスル）にて行います。出発合図員の旗の合図は出発指示権限をもちません。

(A) 泳法競技ジュニアクラス

- (1) 年少者（小学校4・5年生目処）については、保護者・指導者等が付添者としてプールサイドへ同伴可能です。
- (2) 賞状に加えて上位者には別途記録証をお渡しします。また、小学生の上位者については、これとは別に小学生の中での上位記録証をお渡しします。
- (3) **演技の開始・終了は主任のホイッスルの合図に従ってください。**旗による合図も行います。

(B) 泳法競技

- (1) 若手泳者のモチベーションアップを目的として、18才以下の決勝進出者の順位をもとに「記録証」の授与を行います。該当者を掲示にて発表しますので、表彰式にご参加ください。
- (2) 泳法競技予選に於いて「立体」の際には泳形の通告を省略します。
- (3) 大会運営上、泳者の所属団体名について略称の使用、一部通告を省略することがあります。
- (4) **演技の開始・終了は主任のホイッスルの合図に従ってください。**

【実施方法の変更点】

- ・予選は、これまでとおり、若年から順に泳順を決めます。
- ・決勝においては「予選の得点の低い順」に泳順を決めます。

【お願い】

・泳法競技予選男女立体演技中に、プログラム進行の関係上、泳法競技ジュニアクラスの表彰式が行われます。これに伴い、館内マイクによるアナウンスをいたしますので、ご了承をお願いいたします。

(C) 団体泳法競技シニアクラス

(1) 試合番号①～②までのオーダー表

- ・提出期限 大会 1 日目 8 / 22 (土) 10 時まで。

提出先…記録室

試合番号 (①から②まで) のすべてのオーダー表を一度に提出してください。

(2) 「決勝：試合番号③」または「3位決定戦：試合番号④」のオーダー表

- ・提出期限 大会 2 日目 8 / 23 (日) 8 時 50 分まで。

提出先…記録室

(D) 団体泳法競技

(1) 試合番号①～⑭のオーダー表

- ・提出期限…大会 1 日目 8 / 22 (土) 10 時まで。

提出先…記録室

試合番号 (①から⑭まで) のすべてのオーダー表を一度に提出してください。

(2) 「決勝：試合番号⑮」または「3位決定戦：試合番号⑯」のオーダー表

- ・提出期限 大会 2 日目 8 / 23 (日) 8 時 50 分まで。

提出先…記録室

※オーダー表記入の注意

- ・エクセルファイルを提供しますので、できるだけエクセルファイルで作成、印刷したものを
ご持参ください。
- ・手書きによる場合、お名前の「ヨミガナ」を読みやすい字でお書きください。

<重要> ※以下 (3) ～ (5) は団体泳法競技・団体泳法競技シニアクラス共通

(3) 「立体」泳者は主任の演技開始のホイッスルとともに演技を開始できるようご準備ください。

主任の演技終了のホイッスルまで演技を継続し、終了後は速やかに退水願います。

対戦相手が「立体」泳者の場合、「平体」「横体」泳者は、出発・終了合図をよく確認してください。

(4) 勝ち上がりチームの再度の招集は行いませんので、アリーナ内にて待機願います (当日、招集係の指示に従ってください)。演技開始できない場合、棄権 (不戦敗) となります。トーナメント表の仕組みをよくご理解ください。

(5) オーダー表の提出

- ① オーダーは競技規則に従って横体、立体、平体の全てを含むようにしてください。(オーダー用紙で確認できるようになっています) また種目は異なる種目を遊がなければなりません。
- ② 提出前に、自チームで①を確認してください。
- ③ 記録室提出時、記録係に、記載内容の確認を受けてください。
- ④ 提出期限迄に提出がないチームは棄権 (不戦敗) となります。
- ⑤ オーダー表の提出督促のアナウンスは行いませんのでご注意ください。

(E) 横泳ぎ競泳・支重競技

(1) 競技規則の横泳ぎ競泳の泳法に関する規定、支重競技における重量物を落下させた場合の規定にご注意ください。

(2) 横泳ぎ競泳・支重競技の応援は観客席からとし、アリーナ内 (プールサイド) での応援は禁止します。アリーナ内で応援した場合、応援対象となった選手を失格とすることがあります。

- (3) 支重競技の際、応援者が選手に対し経過時間を伝えることは禁止します。
- (4) 横泳ぎ競泳決勝進出者は、掲示及び場内アナウンスによる正式発表でご確認ください。
- (5) 横泳ぎ競泳決勝出場者のアップスイムは、2日目7時30分から可能です。
- (6) 横泳ぎ競泳のレーン順は、事前に提出された申告タイム等を参考に決めてあります。
- (7) 支重競技の審判方法は、主審及び副審の複数にて水没、移動等の判定を行います。
- (8) 支重競技の競技進行は男女1カ所ずつで行い、各所1名ずつ競技を行います。

(F) 資格審査

- (1) 資格審査受査者は予め自分の演技開始位置（右から、もしくは、左から）をご確認ください。
- (2) 全ての資格の合格発表は、大会2日目のお昼前後にアリーナ内通告と、Web公開、受付付近への掲示により行います。
- (3) 資格審査合格者による「式泳」を行います。該当される方は、招集時刻になりましたらB面側にご集合ください。
- (4) 全ての資格の合格者の「資格登録料」払込手続き方法等は、合格者に対し、合格発表後に文書にて交付します。大会会場では登録料払込手続きを行いません。交付した文書に従って後日払込をしてください。

(G) 永年出場者表彰

大会2日目に表彰いたします。該当者の方は表彰式にご集合ください。

(H) アップスイムに関する指定

- ・50Mプール、サブプールのアップに関する利用方法
- (1) サブプール 大会2日間終日利用可
ただし、スロープ側から4レーン分（ロープ無しのエリア）
- (2) 50Mプール1日目
空いている水面はいつでもアップ可とします。
- (3) 50Mプール2日目
 - ①横泳ぎ競泳出場者＝8時開場から9時15分までスタート台が設置してある1レーンから6レーンは横泳ぎ競泳出場者専用アップレーンとします。横泳ぎ競泳の泳者とおしでぶつからないように、入水管理を各自でお願いします。
 - ②泳法系のアップスイム＝8時開場から9時15分までは泳法系アップスイムは1レーンから6レーン以外で行ってください。
 - ③9時15分以降＝上記指定を解除します。衝突のないように注意して進路管理等を行ってください。

5. 役員の方の入場退場・休憩場所・プールサイド（アリーナ）での待機について

- (1) 大会期間中の中入場退場口はB1F、2Fとも利用はできますが、2Fは開場時刻にならないと開扉しませんので開場前はB1Fを利用してください。
- (2) プールサイドにて立ち見されることはお慎みください。**観覧席から泳者が見えなくなってしまう**ます。また、競技役員もプールサイドでの撮影は禁止です（ご本人の写真等も含む）。
- (3) ご休憩は、「資格審査室（控室6）」「主管役員休憩室（控室2）」を除いた場所でさせていただきます。

6. 水泳場利用上の注意 ※添付 図面をご参照ください

- (1) 出場者、観覧者等は、全て2階エントランスをご利用ください。観覧席へは2階から直接進めません。
- (2) 開場時間は1日目9：00、2日目8：00となります。
- (3) 観覧席（B面側）は落下防止のため最前列を使用しないでください。

- (4) 観覧席の荷物はチーム単位で管理願います。盗難対策は必ずチーム単位で実施してください。
大会会場において貴重品等の紛失・盗難があった場合、大会運営本部では責任を負いません。
- (5) 観覧席と更衣室もしくはプールサイドへの通路は、別紙図面をご参照ください。
- (6) プールサイドは素足です。役員は定められた服装との組み合わせで役員用シューズ等の着用可です。
- (7) プールサイドは原則全面アリーナ指定と致します。
- (8) 更衣室のロッカーは、施錠できません。更衣にのみ利用し、荷物は置かないようにしてください。
- (9) 手荷物・飲料水等は必ず袋などに入れ、ひとまとめにして持ち込んでください。
- (10) 招集所は選手招集室前に設置します。
- (11) 各チームの旗を掲示する場合は、原則ひもを使用し、テープは養生テープのみ使用可とします（紙製ガムテープは使用禁止）。
- (12) プールサイドへの飲料持ち込みは水のみ認めます。
- (13) 観覧席での飲食は引き続き黙食をするようにして、できるだけ他人と向き合わないように座ってください。
- (14) 敷地内は全面禁煙です。
- (15) 本部室、資格審査室、記録室等の位置は、図面をご参照ください。
- (16) サブプールエリアは一般開放部分への立ち入り禁止、1Fロビーでの滞在は禁止します。

7. 弁当について

- ・ 参加者等の弁当はチーム単位で配布します。配布場所は大会本部（控室3）です。受け取った弁当を観覧席まで運ぶ際には、プールサイドの通行は禁止します。会場図の赤色矢印を確認してください。
受け取り場所、本部室は土足禁止です。廊下で外履きを脱いで入室してください。
配達等で飲食物を受け取る場合は、必ずプールの建物外で行ってください。

8. 棄権の取り扱い

- (1) 現時点で判明した棄権者（大会不参加者）については、本会議においてお申し出ください。
- (2) 当日の棄権は、記録室へ文書で申し出ください。
- (3) 各競技の招集は、別紙のとおりです。招集時刻に不在の場合、棄権（欠席不参加）と致します。
- (4) 団体泳法競技・同シニアクラスのオーダー表提出期限に遅れた場合、また、競技開始時に出泳者が出発位置に居ない場合は棄権（不戦敗）と致します。

9. 会場の場所取りと観覧フリー席

- (1) 多数の方々に気持ち良くご観覧いただくために、中央付近に「観覧フリー席」を設定致します。
- (2) 「観覧フリー席」では、荷物を置いて場所をとることやご本人以外の座席取りは禁止です。お互いに譲り合って競技や資格審査をご覧ください。
- (3) 団体等で荷物を置く場合は、観覧フリー席以外の場所で必要最小限のスペースをご利用ください。（シート等で座席を大範囲に確保することはお止めください。）
- (4) 開場時に場所取りのため走ることは大変危険ですのでお止めください。

10. プログラム修正

- (1) 大会プログラム記載事項の訂正・修正受付は、記録室にて記録係が行います。
- (2) 大会プログラムの訂正に関しては、個々のお申し出と受付申込原簿との照合を行います。
ただし、競技の部においては選手の氏名、生年月日順の判断はすべて WebSwmsys から登録された内容で作成をしております。※WebSwmsys に登録したデータに間違いがある場合は、各チームの責任で修正をお願いします。
- (3) その他の修正（流派記述・物故者連絡等）に関しては、各流派・団体責任者からのお申し出、または各流派・団体責任者名を明記した書面によるお申し出を記録係で受付けます。

【水着の規定に関する参考資料】

I 宣伝・広告の媒体について

1 持ち物についていてもよいもの

- (1) 自分の氏名、エントリーした所属（チーム・学校・クラブ等）の名称・マーク。
- (2) オリンピック大会や世界選手権大会等の競技会を表す名称・マーク。
- (3) 国旗・国または地域の名称、都道府県や市町村の名称・マーク。
- (4) 公式競技会および公認競技会のシンボルマークや本連盟が認めたもの。
- (5) 水着・ウェア等のメーカーのロゴマーク。
- (6) 事前承認を得たスポンサーのロゴマーク。

2 それぞれの大きさと数

それぞれの大きさ（サイズ）は着用前の面積とします。採寸方法は正方形または長方形とみなし、縦×横で 面積を求めます。それぞれの面積は最大を示し、その範囲内であれば大きさに規定はありません。

ロゴマークの種類／用途	水着についていてよい大きさと数	ウェアについていてよい大きさと数	その他のものについていてよい大きさと数
上記の（１）～（４）	競泳は50cm ² 以内で1カ所。 競泳以外の競技は大きさと数に制限はなし。	大きさと数に制限はなし。	大きさと数に制限はなし。
メーカーのロゴマーク	メーカーロゴまたはマークは30cm ² 以内で1カ所。（注1）	メーカーロゴは40cm ² 以内で1カ所。マークは20cm ² 以内であれば、いくつ、ついていてもよい。	メーカーロゴは20cm ² 以内で1カ所。マークは20cm ² 以内であれば、いくつ、ついていてもよい。
事前承認を得たスポンサーのロゴマーク	30cm ² 以内で1カ所。	40cm ² 以内で1カ所。	20cm ² 以内で1カ所。

注1 ワンピース水着の場合は、ウエストより上に1つウエストより下に1つ許され、ツーピース水着の場合は、上部に1つ下部に1つが許される。ただし、これらのロゴマークは相互に隣接して置くことはできない。

II 国内競技会での競泳水着の取り扱いについて

本連盟ならびに加盟団体が主催する競技会（公式競技会）と公認された競技会（公認競技会）の競泳競技に おいて、着用できる水着は下記の通りです。

- 1 世界水泳連盟（World Aquatics）の公認した水着を着用すること。 ※規定に外れる水着を着用して泳いだ場合の記録は、各公式・公認競技会において参考記録扱いとなり、 決勝への出場および全国大会や国際大会の標準突破記録として認められず、本連盟のランキングにも 反映されません。
- 2 着用できる水着は1枚のみとし、水着の重ね着は禁止します。
- 3 水着へのテーピングおよび2次加工は禁止します。 ※水着の重ね着、水着へのテーピングおよび2次加工の規定に違反した場合は失格となります